

ハイブリッドクラウド型電子カルテシステム

■支援の概要

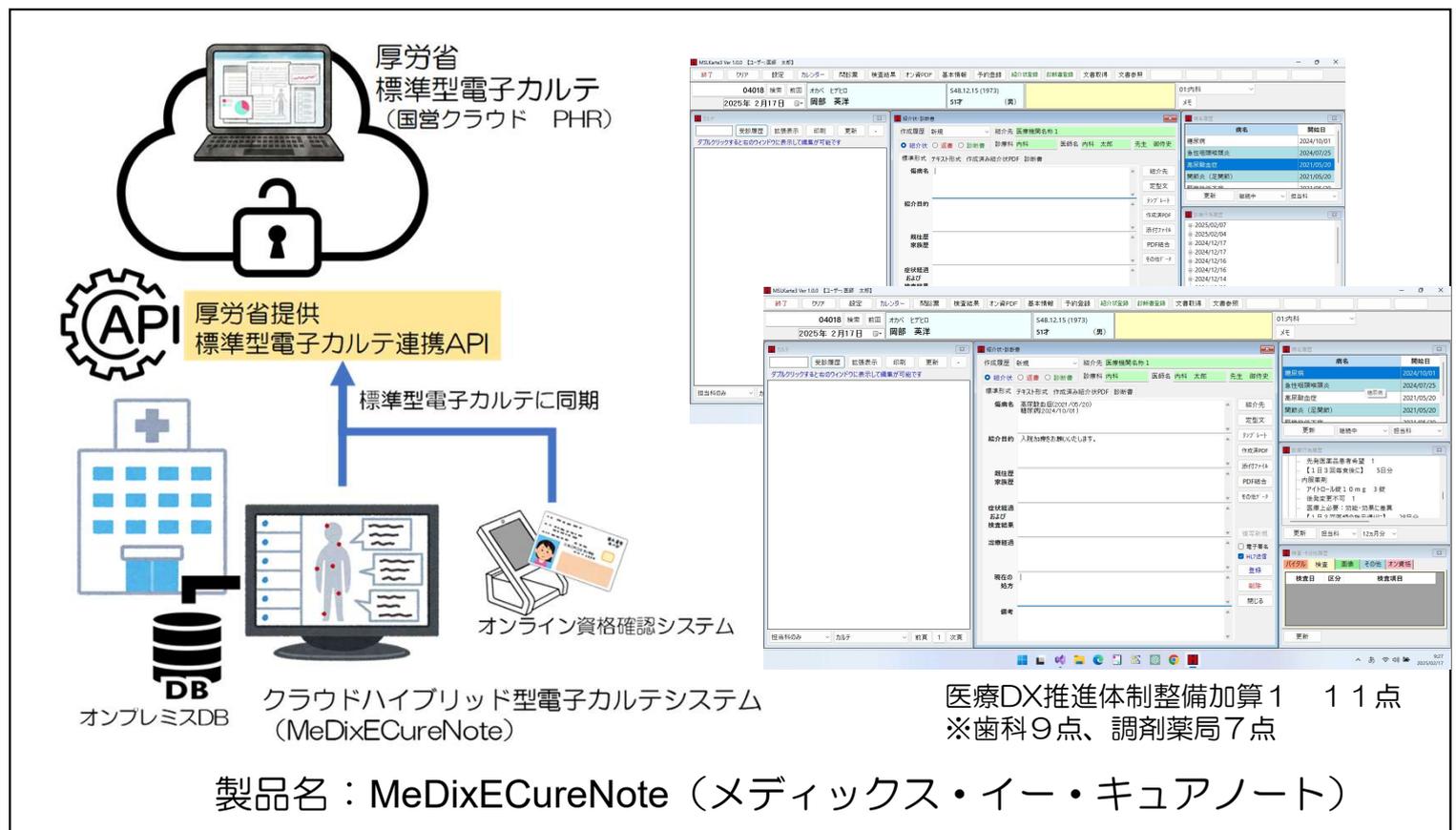
現在、厚労省が進めている標準型電子カルテとハイブリッド同期する機能を搭載した電子カルテシステムの開発を支援しました。通常はオンプレミス・電子カルテシステムで運用することで信頼性・即時性と使い勝手を保証しながら、厚労省が運用するクラウド型電子カルテシステムと同期可能なシステムとしています。

これにより、国が進める国民PHR（個人健康記録）構想に準拠することで、患者は国内どこに居住してもPHRを共有できることとなります。

さらに、災害による院内のシステム喪失時でも厚労省・標準型電子カルテシステム・クラウドデータベースと同期することでPHRをどの医療機関からでも復旧することが可能です。

■支援の項目

- ① システム企画・開発計画の策定
- ② システム設計・情報セキュリティに関する技術支援
- ③ 開発進捗管理



■支援の成果

- ① 今後、国から提供されるAPIによって、厚労省標準型電子カルテに準拠することで診療報酬加算が得られるシステムにしました（令和7年4月以降は電子処方箋の整備が必須）。
- ② 即時性を考慮し、通常業務時はオンプレミスデータベースを用い、ハイブリッドで国営クラウドと同期することで、全国どこからも患者情報が共有できるようになりました。
- ③ 令和7年3月に販売を開始しました。